

「改めて私たちの保育を振り返ろう」

～子どもの権利条約の視点から～

講師：中嶋 一郎氏

令和2年10月26日(月) 18:40～20:10

アンケート集計 159件

【参加者】アンケート回答数より推測できる受講人数は159名以上

①会場での参加…40名(私立園11・公立園29)

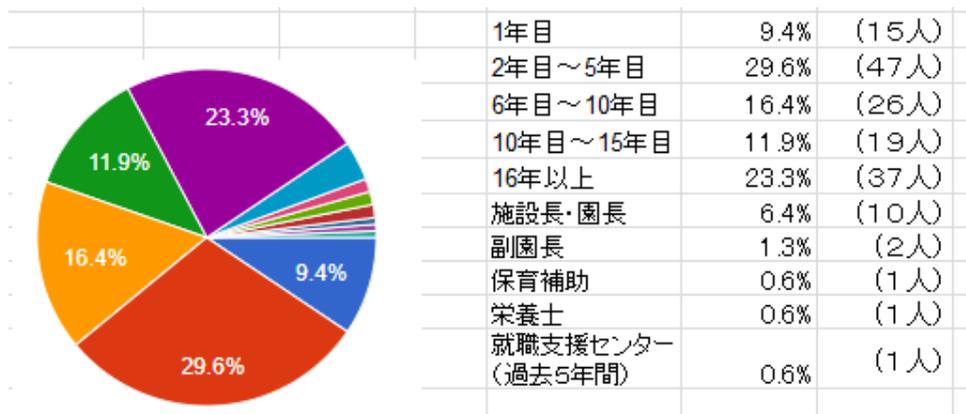
②Zoomでの参加…119名以上(私立園・その他)

(1デバイスで数名受講しているため、正確な人数が把握できなかったため。)

貴方の保育士・保育教諭としての経験年数を教えてください。

その他の方は職種を教えてください。(例 施設長・看護師等)

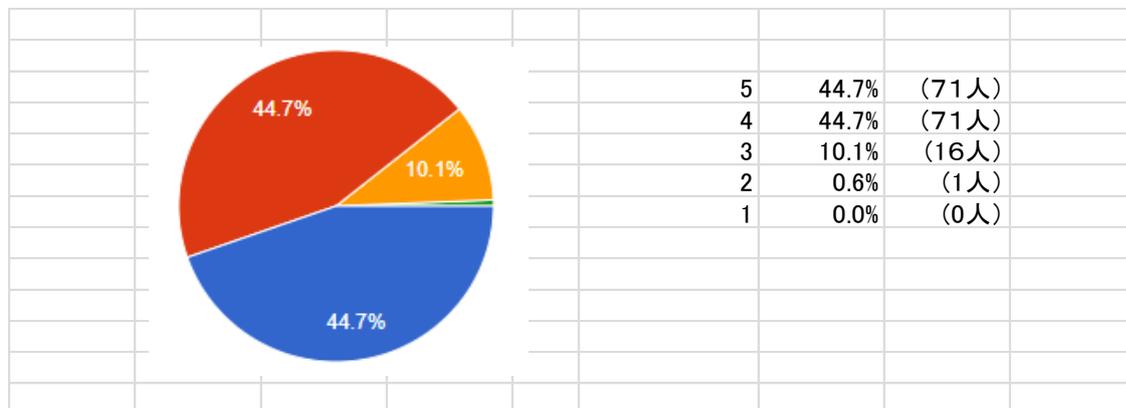
159件の回答”



” この講座を聴いて、これからの保育・教育に役立つヒントを見つけられましたか？

(最も高い状態を5とした場合、当てはまる数字を選んでください)

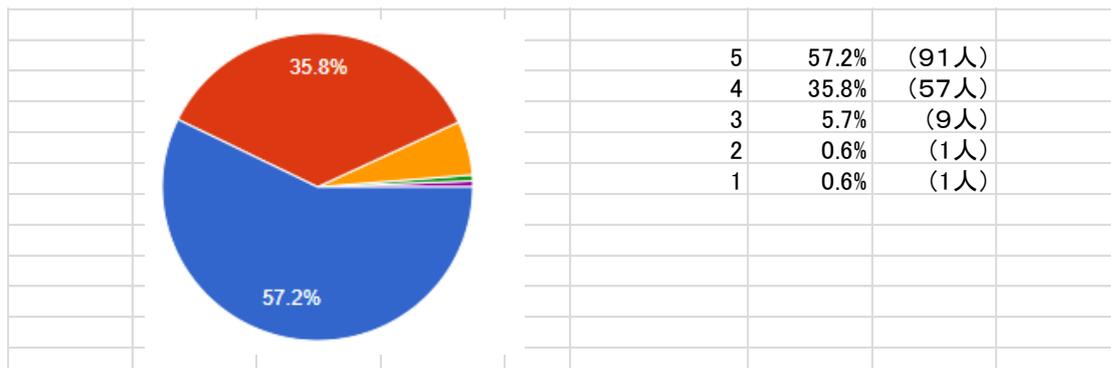
159件の回答”



” この講師の話から自分の保育をふりかえる視点を見つける事は出来ましたか？

(最も高い状態を5とした場合、当てはまる数字を選んでください)

159件の回答”



講座から心に残ったキーワードを記入して下さい。

子どもの権利	22	「子ども感」は日頃の保育者の行動に出ている
権利	7	人に迷惑をかけないが前提
子どもの最善の利益	6	相手を尊重することで権利を行使できる
子どもの権利条約	5	ニーズの種類
子ども観	5	子どもの権利に関する知識は、自分の保育の良し悪しを考える基準となる。
子どものニーズ	4	ニーズ
大人の都合だけで、教えていくと、子どもの最前の利益を侵害しているのだと感じた		権利は相手に迷惑をかけてはいけない
最善の利益とは、ニーズである		最善の利益、子ども自身が感じるニーズ、保育士が子どもの育ちに必要だと思うニーズ
権利条約が保育を振り替える際の指針になる		子どもの権利＝人間の権利
権利の侵害の可能性		権利を意識した保育、言葉かけ
子どものニーズと保育者のニーズ		周りの子どもたちと行動を共にできない子に対し、なんでか？という質問ができていない。
自分にとっての子ども観とは		子どもの権利の視点から保育をみる
選ばせる権利を与えてあげる		子どもの4つの権利
子どもの権利を守れているか		権利条約が保育の振り返りにも利用できる
子どもに対する価値感を自分なりに考える		大人と子どものニーズの違い
子どものニーズと大人のニーズ		まずは共感。そのうえで子どもが納得できる説明。子どもが選べる選択肢を提示する。
いまの価値観が保育の行動に出ている。ということ		子どもの権利の視点から保育を振り返る
権利は尊重するものであって、人に迷惑をかけることではない		子どもの権利＝人間の権利　そこから考えると考えやすくなるという言葉
子どもの権利という視点から日ごろの保育を振り返る		気持ちを聞く
最善の利益、ニーズ		ニーズ
子どもの視点		子どもの参加する権利を保障する
間違ってもいいから振り返る		①権利とは相手を尊重することで行使するもの ②権利の視点から保育の振り返りをする
最善の利益とは　子どもにとってのニーズである。		うまくいかなかった時には、子どもの権利が守られていないことがあるというのが印象的でした。
子どもの権利条約、原因の特定		子どもの権利を守れているか
保育の中の子どもの権利		子どもの人権尊重
どの子ども権利によって守られている		子どもの権利の視点から保育を振り返る
子どもには参加する権利がある		選ばせる権利を与えてあげる
4つの権利は子どもだけでなく、大人も同じということ		子どもとはどのような存在か？
ニーズ		子どもの権利の保障
子どもの権利は人間の権利		最善の利益を考慮する保育
子どものニーズと大人のニーズ		子どもの権利条約の文言は耳にしていたのですが、あらためて保育と直結していることを考えさせられ、眼から鱗といった思いでした。
まず子どもに理由を聞く		子どもの権利が守られているかを考え対応する
意識した保育の実践		子どもの自身が感じるニーズ、保育士が子どもの育ちに感じるニーズ
子どもの権利、子ども自身が感じるニーズ		生きる権利

子どもが選択する権利	無理やりさせている？
参加する権利の保障	子どもに選択肢を与える
保育士同士の共通理解	子どもたちにも選択できる権利がある
保育観は自分の保育に繋がっている。権利は自分に置き換えて。	大人の都合ではなく、子どもの気持ちを受け止めて共感すること
子どものニーズと保育者のニーズ	子どもの権利を意識した関わり
4つの権利	子どもの気持ちを考える
ニーズのズレ	子どもの権利を意識した関わり
最善の利益	人権 振り返り
子どもの権利は、人に迷惑を掛けないことを前提に守られる。	生きる権利
子どもの自身が感じるニーズ、保育士が子どもの育ちを感じるニーズ	参加する権利の保障 育つ権利の保障
ひとつひとつの権利を具体的な事例で考えること	権利は、人に迷惑をかけないことを前提として使うもの。相手を尊重するために使うもの。

講座の感想がありましたらお聞かせください。

研修を行ったことで、自分の保育がどんな感じだったかを振り返られるいい機会だと感じた。凄く勉強になった。次に活かして行きたいととてもわかりやすかったです。
わかりやすいお話で、明日からの保育の参考にしようと思いました。
自分たちの保育を改めて普段と違った視点で見ることが出来た。
普段の何気ない保育の中にも子どもの権利が隠れていることが分かりました
普段の保育ではあまり考えてこなかった権利について改めて考えることが出来ました。
前回と違う事例だとよかったかもしれない
難しいイメージがありましたが、とてもわかりやすかったです。
自分の保育を見直す良い時間になりました。
子どもの権利を自分の保育に振り返ることのヒントになった
中島先生がエピソードを含めたお話でわかりやすかったです
時間や流れに追われていて、子どもの要求や思いを聞ききれてなかったことに気づきました。ありがとうございました。
詳しく4つの子どもの権利が知れて自分の保育観なども変わった気がします。ありがとうございました。
自分の子どもに対する言葉掛けになんの権利が侵害されている言葉掛けだったのか理解することが出来た。今後は気をつけながら関わっていきたい。
普段の保育を振り返るいい機会になりました。
自分の保育を見直して反省すべきところもたくさん見つかりました。今後にいかしたいと思います。
以前も受講させていただき、改めて気づくことも多かったです。
一つ保育の視点が広がりました。ありがとうございます。
貴重なお話をありがとうございました。
自分に余裕がないと、なかなか意識できなかったことだった。改めてここで学ぶことで、意識づけになったと感じます。ありがとうございました。とても参考になりました
自分の保育を見直しながら分かりやすく説明してもらい勉強になった
自分の立場で物事を進めてしまっていると気づけた。子どもの気持ちを受け止め、説明できるようにしていきたい
自分の保育を見直す良い機会になりました
今日はありがとうございました。普段何となくいけないなと思いながらも、直せていなかったところを文字に起こすことで、改めて見直すことが出来ました。
子どもがしたくないこと安全や健康などの兼ね合いはどうなるのか？
優しい声が心地よかったことと自分の保育を振り返ることが出来ました。今度はこの知識を現場で活かしていきたいです。
日ごろの保育での自分の言葉のかけ方や、保育に関して振り返る良い機会となりました。
子どもの権利について学び、自分の保育を見つめ直す良い機会となりました。今回学んだことを活かして、より良い保育を見つけ周りに共有できたら良いと思っています。
振り返って権利を侵害してしまったかとも思っても、他の関わり方を職員間で共有・対策をしていかなければ同じことをしてしまうと感じた。権利という視点を今後の保育に生かしていきたいと思います。
保育の中で子どもを尊重しようとは思っているけれど、どうしてもつい大人の都合、価値観で子どもに関わってしまう場面が多くなってしまいます。今回の研修で、自分の子ども観や保育を振り返ることができました。何が子どもにとっての幸せか、何が子どもにとっての最善の利益かを考えることができました。ありがとうございました。
昨年も受講しましたが、権利条約の話は、一年に一度きちんと聞くことで自分のものになると感じました。

<p>今まで保育士の職務としての最善の利益を配慮した保育についておおまかにしか捉えられていなかったですが、この講義を聞いて、どの視点で見ればよいのかを分かった気がします。</p>
<p>振りかえることの大切さを改めて感じました。</p>
<p>子どもに対する対応で迷った場合には、子どもの権利の視点から考えてみる事をしてみようと思った。</p>
<p>子どもの思いを受け止めることは、意識できているか、権利としては意識が不十分であったと思う。子どもとの関わりでは、どうしても気持ち切り替わるのか、ということに配慮が行き過ぎていた。「どうする?」と聞きながらも、子どもが選択できないような関わりをしないようにしたいと思った。</p>
<p>とても分かりやすい研修でした。子どもの権利条例に対して、抵抗なく聞けました。</p>
<p>昨年同様、自分の保育の振り返りになりました。研修を受けると、日々の保育で忘れてしまっているなど実感します。時に今日の研修を見返して行きたいと思います。</p>
<p>子どもの権利と照らし合わせて自分の保育を振り返り、次に活かしていけるようにしたいです。</p>
<p>今までは子どもとの関わりを振り返る際に、ためだったなと思うだけだったが、今後は子どものニーズとは何か、保育者のニーズは何かと考えたい。そうすることにより、さらに知識が高まると考えた。</p>
<p>先生の研修は2回目になります。今回は自分は何を優先させるか改めて考える機会をいただいたと思います。</p>
<p>とてもわかりやすく、全職員で参加したかったです。</p>
<p>子どもを言葉だけで説得しようとしても、実際は、そこまでの理解力に到達したいなことが多いです。なので、講義の中での例題や解決策は実践にしっかり合ったものとは言えないと思います。が、しかし、大切にしなければならないポイントは分かりました。後は、保育士である自分の力量なのだと思います。大切にしなければならないポイントを教えて下さり、ありがとうございました。</p>
<p>具体的な事例を挙げて実践するが、正解がないので、保育士自身の勉強が必要だと改めて思った。権利について知ることができてよかった</p>
<p>改めて子どもの権利について考えさせられ、保育を振り返り、権利を侵してしまいそうになった時どこに理由があるのか考えることが大切だと感じました。</p>
<p>自分が行った実践場面においての思い出を振り返る時間があることで、子どものニーズと保育士のニーズから考え、権利の保証ができていたか考え、次にどうしたらいいか深く考えさせられた。</p>
<p>子どもの権利を大切にするには、自分に心の余裕が大切だと深く思った。</p>
<p>自分だけではなく保育園全体として見直さなければならない振り返らなくてはいけない内容だと改めて感じることができました。園として何人が受けているので話し合っけて広げていきたいと思いました。またZoomの研修は初めてでしたが、聞きやすい声とスピードでこういった研修もいいなと思うことができました。ありがとうございました。</p>
<p>最善の利益を意識して働いてきたつもりではあったが子どもの権利条約の視点に照らし合わせて自分の言動を振り返ったことがなかった。4つの権利を保障すると考えることで今までより子どもたちの最善の権利を保障できる人に近づけるように思えた。ありがとうございました。</p>
<p>保育をしていく中で子どもへの対応を悩んでしまうこともありましたが、先生のお話を聞き、明日から実践出来ることもあり、とても為になった。子どものニーズを把握し、子どもにとってしっかりと納得が出来る様に対応をしていきたい。</p>
<p>改めて自分の保育を振りかえるきっかけになりました。</p>
<p>価値観の違う保育教諭が同じクラスの担任になることは多々あると思います。そんな時に考えをすり合わせていくのにも、子どもの権利から保育を考えていくことで、客観的に話し合いが進められるのではないかと思います。子どもたちに最善の利益を与えられるように、子どもの権利条約を正しく職員全員が理解できるようにしたいと思います。わかりやすく講義をしていただきまして、ありがとうございました。</p>
<p>難しく感じていたが、わかりやすかった</p>
<p>実例があつてとてもわかりやすかったです</p>
<p>学生の頃と保育者になってからは、子どもに対しての想像できる幅が広がっていた。</p>
<p>日々の保育の中で、自分の対応が子どもたちにとって良いものなのか考えてしまうことが多くありました。今回の研修で、子どもの権利条約というものを噛み砕いて分かりやすく教えていただき自分の言葉で理解することができたので、今後の保育に取り入れることで自分の対応に少し自信が持てるかなと感じました。</p>
<p>子どもの対応に困ったことがこれまでに数え切れないくらいありましたが、振り返りをしてこうすれば良かったということはわかって原因まで探ることができませんでした。今回の講座で子どもがどうしてほしいのか感じる事が権利につながると思うと、保育の大切さを改めて感じました。今後の保育に活かしていきたいです。ありがとうございました。</p>
<p>保育の中で、今まで以上に子どもの権利について、意識して対応していこうと思った。</p>
<p>今後も子どもの権利を常に考えながら、子どもと関わっていききたいと思います。</p>
<p>自分の保育をきちんと見直すことが出来ました。明日からの保育でも今日学んだことをいかしていきたいと思いました。</p>
<p>日々子どもと関わり、保育の中であの場面もっとあすればよかった、こうした方が良かったかもなど、反省するべき点が多くあるが、今回子ども自身が感じるニーズ、保育士が子どもの育ちに必要だと感じるニーズの観点から振り返り、学ぶことが多くありました。子どもの最善の利益、子どものためと思いつつ、私自身主導になっていないか、見直していきたいと思います。日々の保育を振り返り、反省、課題を見つけ、次につなげられるようにしたいと思います。</p>
<p>実際に文字に起こすことで自分の保育をより振り返られました。</p>
<p>参加させていただきありがとうございました。保育士の就職支援をしておりますが、就業後のフォローにてこのような相談があったら対応するときに役立てていきたいと思ひます。保育士は人間性や人柄が大事ですが、知識があることも重要だと感じました。私自身、保育に携わっているときは子どもの権利を守りすぎてそれを理論立てて保護者の方へ説明する力が足りなかったと気づかされました。自分自身の改善点にも気づかされた時間でした。本当にありがとうございました。</p>
<p>「権利条約」といわれると、難しいイメージがありましたが、噛み砕いていくと分かりやすく、一方で必ず子どもに保障してあげなくてはならないものだと感じました。今回理解できた内容を日々頭に入れつつ、自然と保育の中で保障できるように子どもと関わりたいと思います。</p>
<p>日々の保育を流すことで精一杯になり自分の思いだけが1人歩きしていることがあることを振りかえることができた。子どもの思いを第一に考えられる気持ちの余裕を持ちたいと思った。</p>
<p>具体的に、しっかりと考えることが出来ました。ありがとうございました。やはり、会場でほかの方がたのお話を聞いてみたかったです。</p>
<p>権利の知識で終わらず原因を考えるということが大事だと思ひました。わかりやすく保育とつなげて考えるといい機会になりました。</p>
<p>働く環境の大切さを再確認出来ました。</p>
<p>私は幼児養護施設に5年、乳児院に2年働いていて、そこで感じたことは胎内の時から権利を搾取されている現実の厳しさでした。それが思い出されました。子どもの人権は守り続けなければ、と感じました。ありがとうございました。</p>

子どもへの適切なかかわり方としての権利条約に加え、職員を指導する場合にも基準を示すことで、より具体的に客観的に行えると感じた。
自分自身の保育を振り替えることが出来ました。大人の思いが先行して、子どもの思いに寄り添える余裕がないことに気づかされた。
事例を交えながらの講演であったため、とても自分たちの保育へ例えやすくてとてもためになりました。ありがとうございました。
事例をあげて下さり、わかりやすく実践のイメージができました。ありがとうございました。
子どもの望みと保育士の望みがずれた時に対応がうまくいかなくなるということが、腑に落ちました。何でも子どもの言いなりになるのではなく、自分の思いを丁寧に話したり、気持ちを受け入れたり、子ども自身に選択をさせたりすることが、権利の担保になるとわかりました。また、子どもの権利がうまく保障出来ない背景には、子ども親や、業務環境など、さまざまな要因が絡んでいることも、なるほどなあと思いました。
子どもの権利を意識した関わり方ができていないと思い、この講座を受講いたしました。難しいと思っていましたが、手がかりを見つけることができました。ありがとうございました。権利の視点から考えてみることを大切にしていきたいと思います。
日々の保育の中で4つの権利について、意識することが薄れていたように感じ、改めて4つの権利条約の内容を聞き、これからの保育のあり方を考えさせられました。何故なのかを考えながらどうすべきか考えて保育にあたりたいと思います。
自分自身の保育を振り返ることが出来ました。大人の思いが先行して、子どもの思いに寄り添える余裕がないことに気づかされた。
乳児は言葉で伝えられないが、彼らの思いを権利としてどうつかむか？
保育士としての職務のためにも、知識を持って、子どもたちと向き合いたいと感じました。また、職員にも根拠ある説明ができるため、子どもの権利についての理解を深めていきたいと思います。今日は、ありがとうございました。
丁度今日、子どもと私のニーズのズレがあり、分かっていたのにうまく説明出来ず、結果大人の力でそのニーズを封じてしまったということがありました。自分でもモヤモヤした気持ちがあったのですが、改めて振り返り、きちんと子どもの権利を考えながら対応していくようにしたいと思いました。今回、こういう研修を受けることができて良かったです。
自身の保育を振り返って、上手いかなかったこと、思っていた以上の結果が感じられたことの原因が言語化されたように思い、すっきりしました。
子どもの権利条約とは保育実践からは少し離れた総括的なものと思っていましたが普段の保育現場でも活かせることがわかりました。対応に悩む事例ほど主観的、感情的になりがちなので、権利の視点から保育を振り返ることで客観的に判断し、改善点など見つけていきたいです。
自分の保育を振り返る時間が持てて、また振り返りの視点もわかりやすかったです。なかなか自分で意識することが今までなかったので、勉強になりました。
中島先生がエピソードを含めたお話でわかりやすかったです
自分の保育を見直す良い時間になりました。
普段の何気ない保育の中にも子どもの権利が隠れていることがわかりました
保育をしていく中で子どもへの対応を悩んでしまうこともありましたが、先生のお話を聞き、明日から実践出来ることがあり、とても為になった。子どものニーズを把握し、子どもにとってしっかりと納得が出来る様に対応をしていきたい。
詳しく4つの子どもの権利が知れて自分の保育観なども変わった気がします。ありがとうございました。
とてもわかりやすく、全職員で参加したかったです。
1時間半での研修であったので、ポイントが絞られた中での講義であったのが良かった。自分の保育の振り返りが、具体的にできた。子どもの権利を身近に感じ、日々の保育につなげていけると感じた。
子どもの気持ちに寄り添っているつもりだが、つもりになっているだけなのかなとあるのかなと感じた。
親しみやすい
日々保育している中で子どもの権利というものをそれほど意識せずに保育していましたが今回の講座を聞いて改めて子どもの権利について考えさせられました。子どもを尊重して保育していたつもりでしたが明日からの保育に生かして行きたいと思いました。初めてzoomを使い講座を受けました途中で途切れる事なく無事に聞くことができたので安心しました。今日はありがとうございました。
子どもの権利を意識した関わり方ができていないと思い、この講座を受講いたしました。難しいと思っていましたが、手がかりを見つけることができました。ありがとうございました。権利の視点から考えてみることを大切にしていきたいと思います。
保育をしていく中で子どもへの対応を悩んでしまうこともありましたが、先生のお話を聞き、明日から実践出来ることがあり、とても為になった。子どものニーズを把握し、子どもにとってしっかりと納得が出来る様に対応をしていきたい。
人権というと難しいという先入観があったがとても分かりやすかった
貴重な研修をありがとうございました。ズームということでもかなり不安もありましたがスムーズに行う事ができて良かったです。内容も今までの保育の振り返りや、どのような言葉かけが良いのかなど色々考える時間となりました。子どもとは自分にとって学びであり、個々によって色々な児がいる為、答えは一つだけではなく幅広く、というものを改めて思い出しました。
子どもへの対応で、ある意味権利を侵害している原因を探る場合、一つではないということ、改めて考えさせられた。様々な条件でその事象が引き起こされることを考えると常に完璧に出来るとは限らないが、先生がおっしゃるように前向きに、子どもを一人の尊厳ある同等の存在として向き合えるようにこれからも保育に取り組んでいきたいと講座を受けて思った。
声が少し聞きとりにくかったです。話は理解しやすく、数人の方でしたが、意見交換もできてよかったです。
どの場面が4ある権利の中の何にあたるのかが難しいところがあると感じました。
子どもの権利を考える時に改めて子どもの気持ちに寄り添うことになることに気づきました。職員にも伝えたいと思います。ありがとうございました。
自分が行った実践場面においての思い出を振り返る時間があることで、子どものニーズと保育士のニーズから考え、権利の保証ができていたか考え、次にどうしたらいいか深く考えさせられた。
とてもわかりやすく、スッと心の中に入っていた。学生の時にも子どもの権利条約の授業があったが、わかりづかった。中嶋先生の授業だったらもっと良かったと思った。
ワーキングもあり良かった
自分を振り返ることができました。
難しく考えていたことが分かりやすく知ることができました。ありがとうございました。
保育者が普段かけている言葉は、子どもたちにとって大きな影響があることを改めて気づかされました。
子ども達への関わりの中で、子ども達の権利というものを意識することで、さらに冷静な判断で声を掛ける事ができると思いました。その余裕があることで子ども達の思いをさらに受け入れ、声を掛けることが出来るようになると思いました。

日々の保育の振り返りが出来ました。
普段の自分の保育を見つめ直すきっかけとなりました。今後は今以上に子どもの気持ちに寄り添っていきたく感じました。
お話は最もだと思うが、権利を守り過ぎ、協調性のない身勝手な子どもにならないか不安。
改めて自分の保育を振り返るきっかけになりました。ありがとうございました。
普段の自分の保育を見つめ直すきっかけとなりました。今後は今以上に子どもの気持ちに寄り添っていきたく感じました。
まず、先生の子どもの頃のお話から私も同様であったところから、興味関心を持ちました。講義は、難しい内容と思っていたのですが大変分かりやすく、現場に即して又具体的に良かったです。常日頃、人権に関しては私自身意識が高いと、自身を持ちながら受講したわけですが、恥ずかしながら、それが過信だったことに気づき、保育を振り返るきっかけを頂き感謝しております。翌日朝一番で同僚にその話をさせて頂き、40年近くも経験を積んできたのにこのようなことで、衝撃的であったことも伝えました。気持ちを切り替え、早速子どもへの接し方を変えています。又、子どもだけでなく保育士、大人に対しても同様に人権尊重を前面に出し、ことばや行動で表現していきたく思います。心から有難うございました。
子どもは、大人の言うことを聞く子は、大人にとって都合がいい子になる。しかし、現実には、大人目線では、大人の言う事を聞かないと手がかかる子ども（障害者）扱いになりがちである。子ども目線では、1.大人を試している2.大人に怒られるから3.自分のやりたい事を最後迄やらせてくれない4.どうせ…5.言う勇気がない  しかし、この講座を受けて 感じた事は、あった事実。大人が子どもに どのような言葉かけをしたか。それに対して子どもの反応や行動。大人は、他に方法があったのか？もっと、違う言葉かけがあったのでは？子どもの気持ちに寄り添っていたか？など日頃から子どもに対する大人の関わり方を意識付けすることが振り返りが出来たことによって 日々頭にある事によって少しずつ自分自身が子どもに対して言語が増えてくると思いました。
ワーキングもあり良かった
子どもの権利条約と照らし合わせながらの保育を意識していなかったので、自分の関わり方は子どもの権利が守られているのかを振り返ることを大切にしていきたいと思いました。
権利を意識した関わり方を職員に伝え、自分の保育を振り返る機会にしてもらいたい
初めてのリモート参加有り難う御座いました。改めて色々振り返りの機会が持てました。これからの保育に生かしていきたいです。
この仕事を通して「こども」とはどんな存在であるかをもう一度考え直す良い機会になった。

## 今後の講座について、ご希望の講師や内容がありましたらお聞かせください

中嶋一郎先生 5 (今回の講座もう少し事例を混ぜて行ってほしいです。 1人)	今日のように保育に活かせる内容を希望します。
大豆生田先生 4	ズーム研修、とてもやりやすかったです。家庭がある身としては、コロナ禍関係なくズームで研修を行ってほしいと感じました！
権利の内容を現場に落としとして詳しく知りたいです	もっと深く子どもを知りたいです。
食育活動	体育専門家による、運動嫌いな子どものための運動教育のありかたに関する話
気になる子への保育、偏食について、アレルギーについて	柴田愛子先生
今後もzoomでの開催を希望します。	マネジメントに関する講座
グループワークの手法	子どもの権利、尊厳、主体などを学べる講座。評価についても学びたいです。
保護者支援についての講座	子どもの立場に立った考えを代弁できる専門家の意見が聞きたい、そして、専門知識の必要な保育指導なども！
リモートを使った保育など	ダンス、出し物
星山麻木さん	保育者の保育向上に繋げられる内容
保育の実践に活かせる題材のもの 職員間のコミュニケーションについて	保護者対応について
「子どもの姿ベース」の指導計画	気になる子どもについて
子どもを肯定した言葉かけ方法を知りたい。レポートリーが少なくもっと褒めて伸ばしたいため。	日頃の保育に役立つような、見直すことのできる内容